

工作機械向け軸物部品強化

オオツカ
ハイテック 来月、複合加工機導入



【さいたま】オオツカ（長）は、工作機械向けカハイテック（埼玉県）のスピンドルなど軸物鴻巣市、大塚則夫社 部品の加工を強化す

る。約8000万円を投じ、複合加工機1台を2026年1月に導入・稼働する。軸物の新規受注獲得のほか、複合加工に

▲オオツカハイテックは軸物加工を強化する（本社外観）
よる工程集約で省人化を図り人手不足対策にもつなげる狙い。同社は2026年8月期の売上高で25年8月期比約8・3%増の18億円を目指しており、新機導入で達成に弾みをつける。

新たに導入するのは、オークマ製の複合加工機「MULTUS U4000」。これまで自社製造していなかった軸物部品の製造を可能とし、これにより、従来の5個以下の少量生産に加え量産品への対応も視野に入れる。また、人手不足が課題となる中、旋盤とマシニングの機能を集約していることから生産性向上と省人化を図る。

同社は製造装置やロボットの動力を制御する機械要素「カム」や、金属部品の設計・製造・販売を手がける。穴あけや形状加工、熱処理、さらに3次元測定機による品質保証までを含めた自社管理による一貫生産体制が強い。